

四ツ池公園運動施設検討調査について



◆四ツ池公園運動施設の整備方針

- 1 四ツ池公園は、陸上競技場を整備する。
理由：陸上競技場は四ツ池公園以外にはないため。
- 2 陸上競技場は、公認2種以上の施設とし、サブトラックを併設する。
理由：全国規模の大会の開催と、現陸上競技場の特徴である市内のアスリートの練習の場を確保するため。
- 3 四ツ池公園内の現野球場の機能は、静岡県において整備される遠州灘海浜公園篠原地区の野球場で担うこととし、市が整備する野球場は、既存の野球場の機能向上も含め、高校野球の大会が開催できる規模とする。
理由：県の整備する野球場は、一定の規模及び機能が想定できるため。
市内の複数の野球場で大会等を実施しており、機能向上も対応可能なため。

【陸上競技場に関して特別委員会で議論すること】

- ①前提把握（用途地域の整合性や周辺環境の考慮など）
- ②公認種別（1種公認陸上競技場又は2種公認陸上競技場）
- ③機能用途（多目的陸上競技場か専用陸上競技場か）
- ④周辺施設との差別化（東海地域・県内の類似施設との差別化）
- ⑤コスト比較（複数パターンでの比較）

「四ツ池公園運動施設の整備構想策定について」(案)

1 目的

- ・「整備方針」に基づき、最終的に「基本構想」を策定していくにあたって、専門的なノウハウをふまえ、具体的な検討に必要な調査を実施するもの。
- ・委託調査 ⇒ 検討(関係団体ヒアリングを含む)⇒県営球場の基本計画の動向⇒四ツ池公園運動施設の整備構想策定

2 委託調査の概要

- ・9月補正にて予算要求
- ・概算費用:約2,800万円程度を想定
- ・委託契約期間:令和5年12月～令和6年9月(債務負担行為)
- ・委託先:専門コンサル(土木分野を含む)

3 スケジュール

9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	●公募		●事業者選定		●整備方針再検証				●整備構想骨子案(市)			●整備構想(市)	
			◆	→									
					●基本計画素案(県)				●基本計画公表(県)				

1 調査の概要（案）

- ①現状の再検証
 - ・四ツ池公園運動施設現況調査（H28）の再検証
 - ⇒調査結果のリバイス
 - ⇒今後の浜松球場に関するライフサイクルコストの積算

- ②陸上競技場のあり方
 - ・四ツ池公園における陸上競技場のあり方について整理
 - ⇒近年の他事例における施設整備状況（県内陸上競技場を含む）
 - ⇒関係団体等へのヒアリング
 - ⇒必要機能の整理と施設規模の検証
 - ⇒敷地内における整備パターンと概算費用、メリット・デメリット（第1種・第2種、専用・多目的、附帯施設等、複数可視化）

- ③浜松球場のあり方
 - ・①②に基づく浜松球場のあり方について整理
 - ⇒関係団体等へのヒアリング
 - ⇒必要機能の整理と施設規模の検証
 - ⇒整備パターンと概算費用、メリット・デメリット（既存施設の改修・新設、その他）

- ④その他
 - ・四ツ池公園のあり方（公園内のゾーニング：駐車を含む）
 - ・周辺状況の整理：（交通・用地）
 - ・整備や運営手法の検討（民間活力の活用など）

◎委託事業者の選定後、詳細については調整し当委員会へ報告

2 調査と整備構想策定までの検討イメージ

